

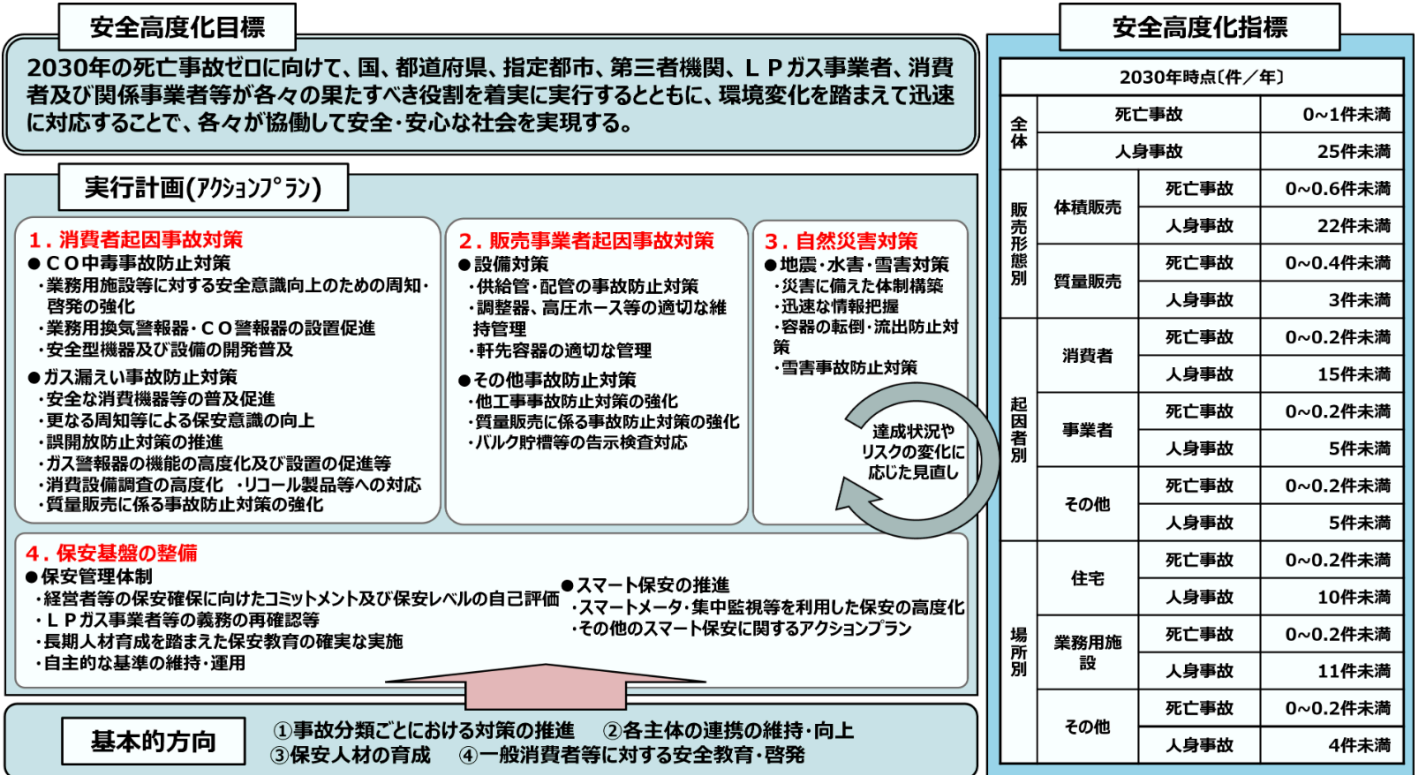
高度化計画改定の主なポイント

経済産業省が公表した「液化石油ガス安全高度化計画2030」の改訂内容について
主に以下の6点について見直し・追記が行われています。

<高度化計画改定の主なポイント>

改訂ポイント① 2030年までの期間において想定される 環境変化での感染症対策の位置づけ変更 【第1章】	改訂ポイント② アクションプランにおける質量販売に係る 事故防止対策の位置付けの見直し 【第2章】	改訂ポイント③ CO中毒事故防止対策として、 動画共有サービスの活用について追記 【第3章】
<p>▶ 計画策定当初には、新型コロナウイルス感染症が蔓延していたこともあり、「⑤感染症対策」を重点項目として位置づけていたが、新型コロナウイルス感染症の位置づけが、「新型インフルエンザ等感染症（いわゆる2類相当）」から「5類感染症」へ変更になったことを踏まえ、今般の改訂以降、重点項目としては位置づけないこととする。</p>	<p>▶ これまで高度化計画のアクションプランでは、「質量販売に係る事故防止対策」は「販売事業者起因事故対策」の中のみ位置付けられていた。一方、質量販売に関する国の制度整備や周知の取組は、消費者起因事故の防止を目的とするものであるため、「消費者起因事故対策」の欄に新たに「質量販売に係る事故防止対策」を追加する。</p>	<p>▶ 国は、全国のLPGガス事業者や業務用厨房機器を使用する一般消費者等の保安レベルの維持・向上を図るため、従来から実施しているオンデマンドのeラーニングによる講習をYouTube等の動画共有サービスを活用して公開し、誰もがいつでも閲覧できる啓発環境を提供する、という内容を追記。</p>
改訂ポイント④ 質量販売緊急時対応講習の 周知の強化について追記 【第3章】	改訂ポイント⑤ 質量販売緊急時対応講習における 実技講習の導入の検討について追記 【第3章】	改訂ポイント⑥ 他工事事故防止対策として、 取組強化（広報・周知、表示活用等）や 関係省庁等と連携したSNS発信の追記 【第4章】
<p>▶ キャンピングカー等の利用増加を踏まえ、一般消費者の保安意識向上が重要であるため、国が質量販売の緊急時対応の重要性を広く周知し、SNS等を活用して講習の受講促進に取り組む、という内容を追記。</p>	<p>▶ 質量販売における人身事故の主な事故原因として、バルブやガス栓等の誤操作や閉め忘れ等の閉閉ミス等のヒューマンエラーが多い状況にあるため、現在座学中心で行われている質量販売緊急時対応講習について、オプション等による実技講習の導入を検討する、という内容を追記。</p>	<p>▶ 更なる取組の強化（LPGガス事業者から一般消費者等への広報、周知の継続や埋設管表示シールの活用等）を図る点や新たに関係省庁や関係機関とも連携し、SNSを活用した情報発信等を行う、という内容を追記。</p>

<「液化石油ガス安全高度化計画2030」の概要>



※引用：経済産業省「液化石油ガス安全高度化計画2030」を改訂しました（2026年3月27日公表）

※原文URL：https://www.meti.go.jp/press/2025/03/20260327007/20260327007.html